

岬町 ため池ハザードマップ

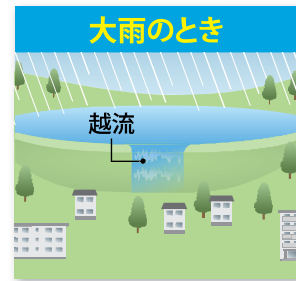
このハザードマップは、大雨などにより、万が一ため池が決壊するおそれがある場合の備えとして、安全な避難行動に役立てるための情報を提供する目的で作成しました。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んで確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主避難を心がけましょう。
- いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

【ハザードマップに関するお問い合わせ先】 岬町都市整備部産業観光促進課 TEL:072-492-2749

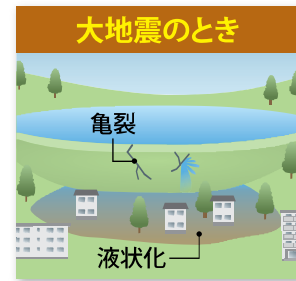
(令和6年3月 作成)

こんなときは要注意!



大雨のとき

- 大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が侵食され、決壊することがあります。
- 竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、侵食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



大地震のとき

- 大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。
- 比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に到ることがあるので注意が必要です。

雨の強さと降り方(1時間雨量)

24時間雨量が80mmを超えると、災害が発生するおそれが高まります。

10~20mm未満 やや強い雨	20~30mm未満 強い雨	30~50mm未満 激しい雨	50~80mm未満 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、がけ崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したように降る雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

※気象庁資料参照

避難の心得

いざという時のために、日ごろから避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

	状況により、すばやく避難しましょう 避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。		外出中の家族には連絡メモを残そう 「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくようにしましょう。
	防災メモを持とう 高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。		集団で助け合おう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
	非常持ち出し品は最小限に 非常持ち出し品は両手が自由に使えるようにリュックサックにまとめ、持ち出しやすい場所に保管しましょう。		避難所では係の人の指示に従いましょう 避難所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

情報の入手先

岬町 ●避難場所や避難情報など、岬町の防災に関する情報 http://www.town.misaki.osaka.jp/index.html	
気象庁 ●全国の気象情報や災害情報など https://www.jma.go.jp/jma/index.html	
大阪府 土砂災害の防災情報 ●府内の土砂災害警戒情報など http://www.osaka-bousai.net/sabou/smart/Index.html	

おおさか防災ネット

防災情報メール配信サービス

おおさか防災ネット「防災情報メール」は、災害時の避難情報や防災情報などをメールで配信するサービスです。

〈登録用アドレス〉
touroku@osaka-bousai.net

▶右の二次元コードより空メールを送信し、返信されるメールの案内に従って登録してください。

情報の伝達経路

町からの避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。災害の発生が予想される状況では、正確な情報を収集し、適切な避難行動をとってください。



ため池の異常に気づいたら すぐに連絡・通報!

緊急時連絡先

岬町	岬町役場 072-492-2001
消防	岬消防署 072-492-0119
警察	泉南警察署 072-471-1234

避難情報と住民のとりべき行動

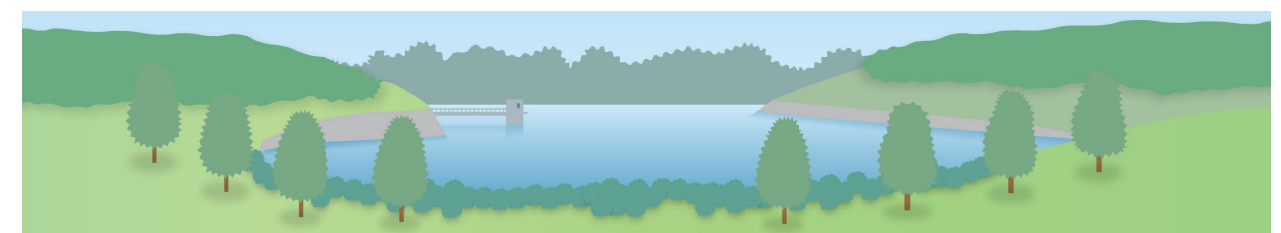
警戒レベル	避難情報等	状況	避難行動等
5	緊急安全確保※1 (町が発令)	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!
..... 警戒レベル4までに必ず避難!			
4	避難指示 (町が発令)	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難 (町が発令)	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める

※1 災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

ため池の役割

ため池は、雨が少なく大きな河川から離れた地域などで、農業用水を確保するために水を貯めておく人工的な池のことです。



●水辺空間の形成

都市化の進行や開発によって緑や水辺空間が減少する中、水に親しむことのできる場所を提供しています。

●農業用水としての役割

雨が少ない地域では、古くから農業用水をため池に貯め、利用しています。

●防災としての役割

適切に管理することにより、大雨時の洪水調節や、火災時の防火用水としての役割があります。